

平成21年10月22日

各部（局）長
各次長様
各課（室）長
各出先機関の長

企画財政部長

平成22年度予算編成方針について（通知）

平成22年度予算編成方針を定めたので、上尾市予算規則第5条の規定に基づき通知する。

平成22年度予算編成方針

我が国の経済は、昨年からの世界同時不況の影響により、景気悪化のペースは鈍化しつつあるものの、依然として厳しい状況にある。

内閣府が公表した9月の月例経済報告によると、前月に引き続き「景気は厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きが見られる」とする一方、「雇用情勢の一層の悪化」懸念や、「景気を下押しするリスク」の存在についても指摘している。

また、埼玉県の経済動向調査においても、「一部に持ち直しの動きがみられるものの、依然、厳しい状況にある」としている。

本市においても、平成20年度決算では市税収入が3億円を超える減収となるなど、一般財源総額が前年よりも減少することとなっており、現在、経済指標に回復の兆しは見られるものの、法人市民税を始めとする市税の伸びは期待できず、今後の歳入見通しは非常に厳しい状況が見込まれる。

こうした状況の中、平成22年度の地方財政については、10月に総務省が公表した「平成22年度地方財政収支の仮試算」によると、歳入では引き続き地方税の減少が見込まれる一方で、歳出では社会保障経費などの増加により、一般財源総額は約60兆2,000億円、対前年度比2.0%増という見込みとなった。

本市における平成22年度の財政運営は、上記の動向等を踏まえると歳入全体での増加は見込めない一方で、歳出については、扶助費等の社会保障経費や新たな償還が始まる公債費が引き続き増加する見込みであり、これに加え、市長マニフェストなどの重要行政課題を着実に実現していくためには、安定的かつ健全な財政基盤を確立し、維持することが不可欠である。

このため、平成 22 年度の予算編成においては、引き続き、行財政改革の歩を進め、各種経費の徹底的な見直し・削減を果敢に実行することで無駄な財政支出を厳しく抑制し、その上で市民生活にとって必要性・緊急性の高い事業への財源確保を図ることとして、予算配分の重点化・効率化を一層推進するとともに、今後の国の政策等の動向を注視しながら、「みんなで作る いきいき都市 あげお」の実現に向け、全職員が創意工夫とコスト意識を持ち、知恵を結集し予算編成作業に取り組むこととし、編成要領に基づき予算要求することを通知する。